

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | インクルーシブ社会実現のための映画「風は生きよという」の上映シンポジウムの開催 |
| 事業主体 (連絡先) | 風をみる会 (松本市県 1-16-5 増田龍美) |
| 事業区分 | ソフト |
| 事業タイプ | |
| 総事業費 | 524,292 円 (うち支援金: 387,000 円) |

事業内容

映画「風は生きよという」の上映とシンポジウム

開催日時 28年10月12日 (水)
会場 安曇野市豊科交流学習センター「きぼう」
講師 海老原宏美
(NPO法人自立生活センター東大和理事長)
穴戸大裕 (映画監督)
北村千章 (新潟県立看護大学)
コーディネーター 亀井智泉
(長野県自立支援協議会療育部会
重心・医ケアWG事務局・座長)

参加者 197名 (うち障がい者と介助者85名)



【 シンポジウムの様子 】

車いすや呼吸器をつけた方も熱心に意見発表されていました。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 松本地域だけでなく広域から障がいのある方やその家族の参加があり、障がい者の地域での暮らしについての多くの発言や意見を聞くことができた。
- ② このシンポジウムをきっかけに患者やその家族、当事者が多くの勇気を与えられたという声が多く聞かれた。またアンケートに答えてくれた方の9割が、「理解・共感を得た」、「共に生きることで人間としての尊厳を大切にできる」などと回答してくれた。「相模原の事件以来、障がい者が生きることの意味を考えさせられてきたが、大きな示唆を与えられた」という意見もあった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平日昼間の開催であったため「土日に開催してほしい」という声が多く聞かれた。また「今度は自分の地域、職場、学校で開催したい」という声も多かったので、今後の広がりをつくっていきたい。

【目標・ねらい】

- ① 地域で暮らす障がい者の生活や支援についての理解を深める
- ② 共に支え合って生きる地域づくりのために何をしたらいいのか取り組みの一步とする。

※自己評価【 A 】

【理由】

当初の予定200名にほぼ近い197名が入場。また障がい者と介助者85名もほぼ計画通りの入場であった。内容については予想以上の反響であった